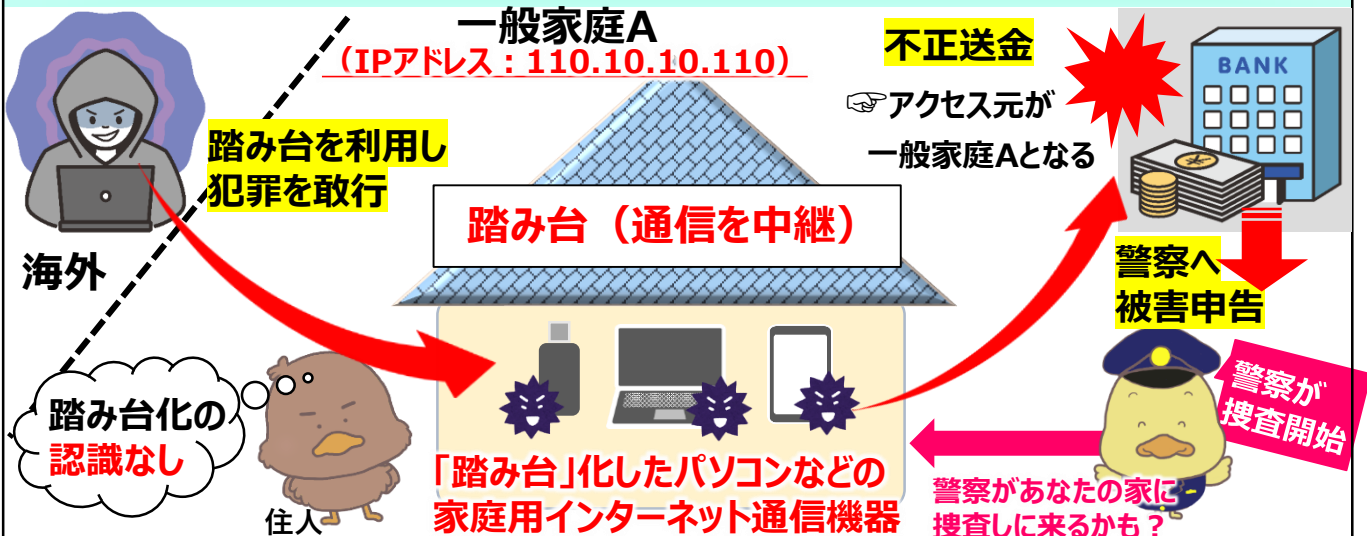




## あなたの家のIoT機器が悪用されている!?

インターネットバンキング不正送金事案などで「踏み台」に!



## どんな悪用事例がある?

警察ではマルウェアに感染した家庭用パソコンやIoT機器が悪用されプロキシサービスを通じて犯罪の踏み台となる事例を確認しています。

**事例1** 海外で放送されているTV番組やインターネット配信の動画を視聴するためのIoT機器がマルウェアに感染しており、不正送金の踏み台に悪用されていた。

**事例2** 「余っているネット帯域を他者に共有して利益が得られる」という、いわゆる収益アプリをインストールし、他者へ自身のネット帯域の貸し出しに同意したところ、不正送金の踏み台に悪用されていた。

## 自宅のIoT機器を悪用されないために...

- 安価な製品の利用はマルウェアに感染するリスクがあります。最低限のセキュリティ基準を満たしたIoT製品にラベルを付与する**JC-STAR制度**が本年3月から始まります。安心できるラベル付きのIoT製品を購入し、利用しましょう。
- フリーソフトやアプリのインストールはマルウェア感染や、悪用されるリスクがあります。制作元をよく確認し、**不審なソフトやアプリのインストールは行わない**ようにしましょう。
- その他、**使用している機器のウイルスチェック**や**使用しない機器のネットワークからの切断**など、基本的な対策を徹底しましょう。



[JC-STARの適合ラベル]

## サイバーセンター公式「X」(旧Twitter)

兵庫県警察サイバーセンターではX (旧Twitter) で、サイバー犯罪やサイバーセキュリティの情報をいち早くお届けしています。

[https://x.com/HPP\\_c3division](https://x.com/HPP_c3division)

